

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
採卵鶏専業	人 2	80,000 羽	1. 飼育は低床ウインドレス式、ケージ飼育 2. 飼料給与は自動給餌機利用 3. 光線管理(LED照明)による生産性向上 4. 集卵は自動集卵装置を装備 5. 洗卵、選別はGPセンターで実施 6. クーリングパッド利用 7. 雇用導入あり(2人)
経営目標	1 農業総収入 2 農業経営費 3 農業所得	298,272 千円 281,995 千円 10,590 千円	4 1日当たり農業所得 32,614 円 5 1人当たり年間労働時間 1,996 時間 (雇用労働時間 3,971時間)
飼育方式と畜舎施設		技術指標	
・飼育方式 ウインドレス ・鶏舎及び付帯施設 低床ウインドレス鶏舎2棟(4万羽×2) (自動給餌・自動集卵) 大雛舎 育雛舎 集卵舎 鶏糞発酵処理施設 (回行型攪拌式)		1、初生雛導入羽数(年) 69,600羽(添雛2,400羽を含む) 2、雛育成率 97% 3、成鶏編入週齢 21週齢 141日 ※鶏舎移動は121日齢 4、成鶏更新週齢 82週齢 (574日) 5、成鶏期間 14.3カ月(434日) 6、成鶏期年間へい死率 3% 7、成鶏更新率 84.1% 8、成鶏一羽当たり産卵日量 53g 9、平均卵重 62.6g 10、年間平均産卵率 84% 11、正常卵率 90% ・格外卵率 9.5% 廃棄卵率 0.5% 12、飼料要求率 1.91 ※成鶏飼料要求率 13、成鶏生存率 94%	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	法 耐 年	定 用 数	年 間 償 却 額
						千円		年	千円
建物・施設	成鶏舎	1	鉄骨ウインドレス(2棟)1,960㎡		1	200,000		19	10,526
	大すう舎	1	軽量鉄骨低床式(3棟) 2,268㎡		1	22,680		19	1,194
	育すう舎	1	木造ガルバリウム 608㎡		1	6,080		17	358
	堆肥舎	1	鉄骨(開放・攪拌、2棟) 544㎡		1	6,800		17	400
	集卵舎	1	木造 174㎡		1	6,090		17	358
	管理舎	1	木造 108㎡		1	3,780		17	222
	計					245,430			13,058
農機具	成鶏舎内施設	2	自動給餌機、集卵機、除ふん装置		1	80,000		7	5,714
	育すう施設	11	電熱機械等		1	15,950		7	1,139
	大すう舎内施設	6	自動給餌機		1	7,500		7	536
	フォークリフト	1			1	2,000		7	143
	ショベルローダー	1			1	2,500		4	313
	トラック	1	2tダンプ		1	2,400		4	300
	鶏糞攪拌機	1			1	4,500		5	450
	台秤	1			1	45		7	3
	デビーカー	1			1	25		7	2
	生ワクスプレー	1			1	100		7	7
	移動コンテナ	30			1	120		7	9
	動力噴霧機	1			1	240		7	17
	計					115,380			8,633
総計					360,810			21,691	

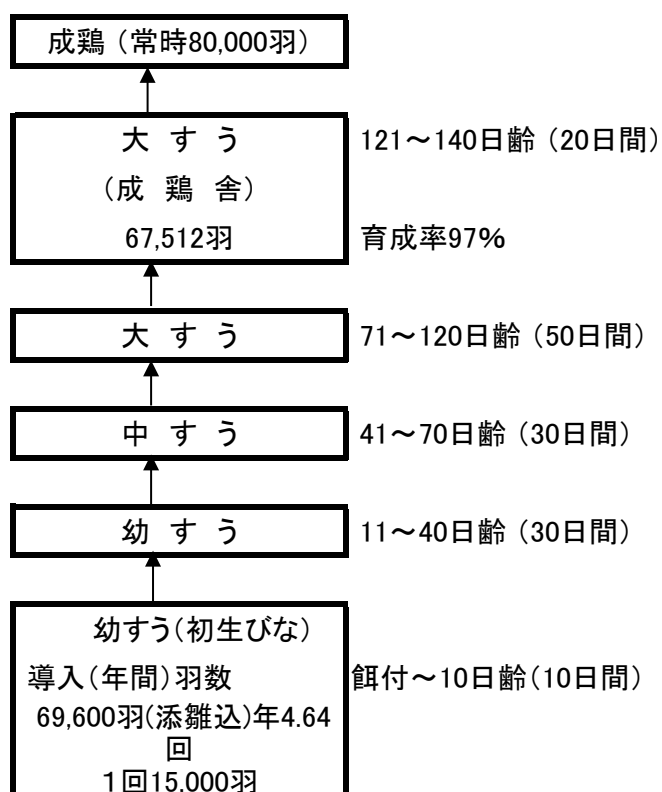
耐用年数は、農畜産業用固定資産評価標準(畜産に係る主なものの耐用年数、平成20年)による。

3. 畜舎及び付帯施設算出基礎

区分	構造・形式	規模	算出基礎
成鶏舎	低床ウインドレス式 (ガルバリウム)	1,960㎡	14m × 70m × 2棟 通路6列(1m)、ケージ4列(4段、1.6m) 6列 × 1m + 4列 × 1.6m = 12.4m 1.22m部屋26羽飼育 × 2 × 4段 × 4列 52羽 × 4段 × 4列 = 832羽/幅122cm (40,000羽 ÷ 832羽) × 122cm = 58.7m 58.7m × 1.2 = 70m
大すう舎	軽量鉄骨低床式	2,268㎡	7m × 108m × 3棟
育すう舎	木造ガルバリウム	608㎡	16m × 38m × 1棟
発酵処理施設	鉄骨ポリカーボネート (透明)(攪拌型) 鉄骨ガルバリウム	544㎡	発酵施設280㎡(堆積高1.5m) ストックヤード264㎡(堆積高2.5m)
集卵舎	木造	174㎡	6m × 29m
管理舎		108㎡	6m × 18m
飼料タンク	FRP (飼料会社無償提供)	3t 3基 5t 6基 7t 16基	中雛用 大雛用 成鶏用

4-1. 技術体系

1) 飼養フローチャート



(2) 飼養羽数

区分	羽数	算出方法
採卵鶏	80,000羽	
大雛	14,550羽	$69,600 \text{羽} \times 97\% \div 4.64 \text{回}$
中雛	14,625羽	$69,600 \text{羽} \times 97.5\% \div 4.64 \text{回}$
幼雛	14,730羽	$69,600 \text{羽} \times 98.2\% \div 4.64 \text{回}$

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
導入品種	1、計画導入 2、品種	(1)衛生管理(サルモネラ対策等)の徹底しているふ化場の選定 (1)採卵鶏専用種
飼育密度	1、成鶏 2、大すう 3、育すう	(1)1ケージ(122cm×39.5cm)に26羽収容 (1)90cm×46cmケージに12羽収容 (1)340cm×85cmケージに400羽収容
管理及び飼料給与	1、幼すう期(～28日齢)の管理 2、飼料給与方法 (環境負荷軽減を考慮し、CPを下げた)	(1)温湿度管理 ①鶏舎内温度は20℃に保つ。 ②ブルーター下を32～35℃に維持する。 ③毎週約3℃ずつ下げて21日齢で22℃にする。 ④相対湿度を約70%に維持するように給湿皿などを設置する。 (2)換気に努める。 (3)給餌は給餌箱以外に敷紙をして与える。 エネルギーの必要量に応じて摂取量の調整能力があるため、養分摂取量の著しい過不足の恐れはなく、不断給餌にする。 (1)0～4週齢 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 19%、 ME 2.9Mcal/kg (2)4(5)～10週齢 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 16%、 ME 2.80Mcal/kg (3)10(11)週齢～初産 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 13%、 ME 2.7Mcal/kg

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
		<p>(4)産卵期(141～239日)(日産卵量 56g)の場合 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 15.5%、 ME2.8Mcal</p> <p>(5)産卵期(240～574日)(日産卵量 49g)の場合 ①不断給餌 ②飼料成分 CP 14.3%、 ME2.8Mcal</p>
光線管理	<p>1、餌付～3週齢</p> <p>2、4～15週齢</p> <p>3、15週齢～</p> <p>4、成鶏期</p>	<p>光線管理が、産卵量に影響を与えるので、明るさや時期および時間に留意する。LED電球を使用する。</p> <p>(1)20ルクスから10ルクスに斬減 (2)22時間から16時間点灯に斬減</p> <p>(1)5ルクス (2)10～12時間点灯</p> <p>(1)5ルクスから10ルクスに増加する。 (2)1時間増加し、11～13時間点灯 1週間で15分、4週かけ増加していく。</p> <p>(1)14～16時間点灯</p> <p>(2)照度 8ルクス * 照度の計算 $\text{ルクス} = \frac{\text{LEDの電球W相当} \times 0.9}{\text{電球からの距離(m)の2乗}}$ 照度は条件により変わるため、必ず照度計で確認する。</p>
一般管理	<p>1、デビーク(断嘴)</p> <p>2、給水方法</p> <p>3、ビタミン剤の投与</p> <p>4、夏季の防暑対策</p>	<p>(1)5～9日齢で行い、止血を十分に行う。</p> <p>(2)切断浅いと再デビークになるが、その際は中すう期に実施</p> <p>(1)ニップル式による自由飲水</p> <p>(1)鶏舎移動の前後にはビタミン(A,D,E,K)剤を3日間飲水投与</p> <p>(1)クーリングパッドによる空冷 (2)屋根の断熱および散水 (2)屋根の断熱および散水</p>

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
<p>予防衛生</p>	<p>1、入雛及び育成鶏導入時の消毒</p> <p>2、日常の衛生管理</p>	<p>(1) 鶏舎内部、育成器具の水洗</p> <p>(2) 鶏糞等の完全除去</p> <p>(3) 2種類以上の消毒剤による鶏舎内の洗浄・消毒</p> <p>(1) 鶏舎ごとの踏込み消毒槽設置</p> <p>(2) 死亡鶏の搬出、異常鶏の淘汰</p> <p>(3) ネズミ・ハエ・ケモ等の駆除</p> <p>(4) 野鳥の侵入防止</p>
	<p>3、各種ワクチネーションの実施</p> <p>ワクチンプログラム(例)</p> <p>0 14 20 28 30 40 40~80 60~80 50~90 100日齢</p> <p>MD IB IBD IB Mg IB FP ND IB 2AC AE IB</p> <p>FP, IB ND ND Mg</p> <p>略字注釈</p> <p>MD: マレック病 FP: 鶏痘 IB: 伝染性気管支炎 ND: ニューカッスル病</p> <p>Mg: マイコプラズマガリセプチカム感染症 A・C: 鶏伝染性コリーザ(A・C型)</p> <p>IBD: 伝染性ファブリキウス嚢病 AE: 鶏脳脊髄炎</p>	
<p>環境及び食の 安全安心対策</p>	<p>1、鶏舎環境の整備</p> <p>2、ふんの適正利用促進</p> <p>3、安全安心のための管理</p>	<p>(1) 鶏舎周辺的环境整備と美化</p> <p>(2) 鶏舎の清潔(飲水の漏水防止)、乾燥、換気</p> <p>(3) 鶏舎の定期消毒</p> <p>(1) ふんの適正処理</p> <p>(2) 畜舎、堆肥舎等からのふん流出防止の徹底</p> <p>(3) 「農業環境規範(家畜の飼養・生産)」での確認、記帳</p> <p>(1) 管理、記帳の徹底</p> <p>(2) 農業環境規範(家畜の飼養・生産)の確認、記帳</p> <p>(3) 飼養衛生管理基準の徹底</p> <p>(4) 飼料添加剤、医薬品等の適正管理</p> <p>(5) アニマルウェルフェアの考え方に基づく飼養管理</p>

5. 作業別・月別労働時間

採卵鶏專業経営／月	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
	676	218	240	218	218	175	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	
青雞給餌・給水	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
成雞給餌・給水	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
集卵	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
出荷	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1
清掃・消毒	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
衛生管理	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
飼導入・出荷	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
除糞・処理	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
記録管理	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
その他	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
計	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8	21.8
旬計	218	218	240	218	218	175	218	218	218	218	240	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218
月計	676	611	676	655	676	676	655	676	676	655	676	655	676	676	676	676	655	655	676	676	655	655	676	676	7,964

6. 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
	218	218	240	218	218	175	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	
うち家族労働	109	109	120	109	109	87.5	109	109	109	109	120	109	109	109	120	109	109	109	109	109	109	109	109	109	120
うち雇用労働	109	109	120	109	109	87	109	109	109	109	120	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	120
計	218	218	240	218	218	175	218	218	218	218	240	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	218	7,964
計	3,993	3,993	4,320	3,993	3,993	3,712.5	3,993	3,993	3,993	3,993	4,320	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993	3,993